



子どもの育ちと安全がわかる！ 子育て安心カード

なまえ



社会福祉法人 日本保育協会

子どもの育ちと安全がわかる！ 「子育て安心カード」とは？



「子どもの育ちと安全がわかる！子育て安心カード」は、傷害を予防し、子どもたちの命を守るためのカードです。「寝返りをする時期」「はいはいする時期」など、子どもの成長発達の様子とあわせ、その成長の節目ごとに子どもの事故を防ぐため、保護者のみなさんに家庭で気をつけていただきたい代表的なポイントが盛り込まれています。保育所からお一人ずつ、お子さんの成長のステージが一つ、また一つと進むたびにお渡しします。

ただ、子どもの成長は、一直線の右肩あがりばかりではありません。子どもは、昨日できたことが、今日できなかったり、またできたりと、日々、試行錯誤を繰り返しながら成長し、じつくりと自分の世界を切り拓いていきます。この「子どもの育ちと安全がわかる！子育て安心カード」は、お子さんの成長の到達目標ではなく、お子さんの成長を見守る時の一つの目安としてご活用ください。

そして、保育所で毎日、子どもたちと生活の場を共にしている保育者は、“保育の専門家”です。乳幼児期の子どもの育ちを見守り、子育てのパートナーとして保護者のみなさんと共にお子さんの成長を喜びあいいたいと願っています。お子さんの育ちについて、不安なこと、わからないことなどがありましたら、いつでも気軽にご相談ください。



子育て安心カード 5つの“みる”～活用のヒント～

このカードは、お子さんの発達とその時期に負いやすいケガや、それを防ぐ安全な環境づくりについて書かれています。5つの“みる”活用術で、お子さんの日々の安全のためにお役立てください。



① 貼ってみる。

保育者からカードを受け取ったら、冷蔵庫や壁など目につくところへ貼り、いつでも見られるようにしましょう。まわりのおとなが、ケガや事故の起きやすい状況を日常的に意識するだけで、お子さんの日々の生活の安全性が高まります。



② アレンジしてみる。

カードにお子さんの写真やシールを貼ってアレンジしてみてもいいでしょう。自分でアレンジしたカードには、愛着がわくにちがいありません。



③ 話しあってみる。

カードの内容を手がかりに、まわりの人たちと一緒にお子さんの様子やお子さんを取りまく環境について話しあってみてください。きっとお子さんの育ちをわかちあうチャンスになります。



④ 相談してみる。

子育てのことで気になることがあったら、ぜひ保育者に相談してみてください。声に出してみることで気持ちが楽になりますし、いっそう温かいまなざしでお子さんの成長を見守ることができるようになるでしょう。



⑤ 保存してみる。

受け取ったカードは捨てずに保管しておきましょう。お子さんの発達の貴重な記録となるでしょう。

相談窓口・緊急連絡先



事故が起きたら 119 番！

まずは、自分が落ち着くように心がけてください。

1. 電話がつながったら、「救急車をお願いします」と告げます。
2. あわてないで、以下の内容を伝えます。聞かれたことには、はっきりと答えてください。
①氏名 ②住所 ③電話番号 ④患者の名前と年齢
⑤いつ、どこで、どうしたか、などの状況の説明 ⑥現在の容態
3. 応急処置する必要があるかどうかをたずね、指示されたら従うようにしてください。

「救急車を呼んだほうがいいかな？」

「今すぐ病院に行ったほうがいいかな？」と迷ったら！

救急相談センター #7119 (365日:24時間)

※携帯電話・PHS・プッシュ回線の固定電話

※自治体によって、設置の有無が異なります。

お住まいの地域に設置があるかどうか、前もって確認をしておきましょう。

たばこや家庭用品を飲み込んでしまったら！

(財)日本中毒情報センター (中毒110番)

- 大阪中毒110番 ☎072-727-2499 (365日:24時間)
- つくば中毒110番 ☎029-852-9999 (365日:9~21時)
- たばこ専用電話 ☎072-726-9922 (365日:24時間)

かかりつけの医療機関連絡先

病院名 電話番号

.....

病院名 電話番号

.....

病院名 電話番号

.....

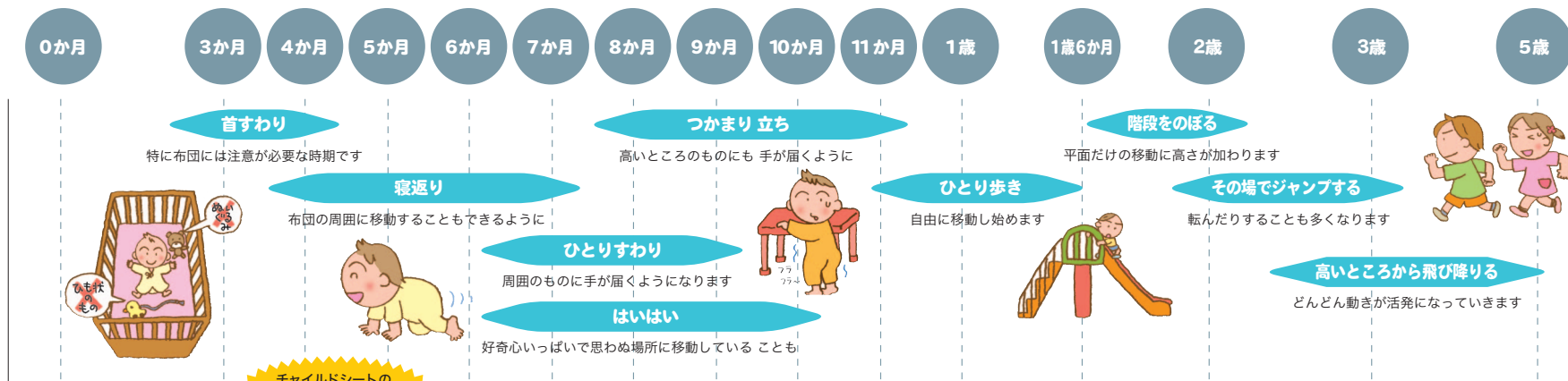
子どもの命と未来を守る！ 10か条

- 1 自動車に乗せる時は、必ずチャイルドシートを使いましょう
＜交通事故死を防ぐ＞
- 2 自動車や家の中に子どもだけを置き去りにしないようにしましょう
＜熱中症や凍死、一酸化炭素中毒、火事などを防ぐ＞
- 3 子どもが近づくことがある場所には、水を溜めないように
深さ数センチの水もおぼれる原因となります
＜おぼれの予防＞
- 4 洗剤や薬などは、チャイルドロックを取り付けた棚にしまいましょう
＜中毒を防ぐ＞
- 5 子どもの口に入るサイズ (直径4センチ以下) のものは、
子どもの手の届かない場所に置くようにしましょう
＜誤飲・誤嚥 (ごえん) を防ぐ＞
- 6 湯気の出る家電、アイロン、熱い飲み物などは、子どもの手が
届かない場所に置くようにしましょう
＜やけどを防ぐ＞
- 7 階段の踊り場などには鍵のかかる柵を取り付けましょう
＜転落を防ぐ＞
- 8 窓際やベランダには、イス、棚、プランターなどを置かないようにしましょう
＜転落を防ぐ＞
- 9 自転車に乗せる時は、ヘルメットをかぶらせましょう
＜頭部を守る＞
- 10 お母さんだけでなく、お父さん、
おじいちゃんやおばあちゃん、
きょうだいも、みんなで家庭内
の安全について学びましょう
＜家族の協力＞



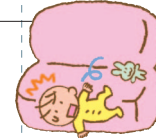
「発達のめやす」と「起こりやすい事故」早見シート

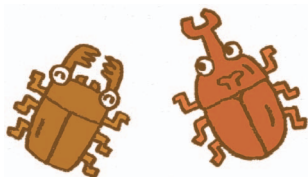
発達のめやす



チャイルドシートの着用は義務!!

起こりやすい事故

交通事故	チャイルドシート未着用によるケガや死亡 車内での熱中症による死亡							おとなとの自転車2人乗りによる事故 ヘルメットの着用を!		三輪車による事故		自分で自転車に乗っていて転倒するなどの事故	
	枕、やわらかい布団による窒息 この時期の死因NO.1	よだれかけのヒモなどが首にかまる		たばこ、ボタンなど、手にするものは何でも口に入れてしまう たばこは誤飲NO.1		化粧品や薬を口に入れる		ナッツや豆類を鼻の穴や気管につまらせる		ビニール袋を頭にかぶって窒息する			
	おとながうっかり熱い飲み物をかけてしまう 熱いお風呂に入れてしまう	熱い飲み物に手を入れてしまう		 テーブルの上の熱い飲み物をひっくり返してかぶってしまう		ポット、アイロン、炊飯器、ストーブ、ヒーターなどに触ってやけどをする		 熱源に触れないように対策を!!		花火ややけど マッチ、ライターでやけど		常にそばにいて! 手の届かないところに	
	おとなが抱いていた赤ちゃんを落としてしまう	ベッドやソファから寝返りをして落ちる		 ひとりにしないで!!		家の中で転んだり、テーブルの角に頭をぶつける		窓やベランダ、階段から落ちる 転倒防止を!		ドアに手をはさむ		すべり台やブランコから落ちる、接触してケガをする	
	おとなが手を滑らせて赤ちゃんをお湯の中に落としてしまう			 風呂場、残り湯、ビニールプールなどでおぼれる ひとりでは立ち上がれない				プールや海、川でおぼれる					



● 編集委員

- 山中龍宏 緑園こどもクリニック 院長／独立行政法人産業技術総合研究所
デジタルヒューマン工学研究センター 傷害予防工学研究チーム
掛札逸美 NPO 法人保育の安全研究・教育センター 代表理事／心理学博士
久野順子 つくしんば保育園 理事長・園長／日本保育士協会 前会長
田中浩二 東京成徳短期大学幼児教育科 准教授／社会福祉法人のあ保育園 副園長
松田妙子 NPO 法人せたがや子育てネット 代表／NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会 理事

● 監修

〈子どもの事故予防〉

- 山中龍宏 緑園こどもクリニック 院長／独立行政法人産業技術総合研究所
デジタルヒューマン工学研究センター 傷害予防工学研究チーム

〈子どもの発達〉

- 寺田清美 東京成徳短期大学幼児教育科 教授

● 参考文献・参考資料

- 「乳幼児の発達別 起こりやすい事故早見シート」山中龍宏 監修（母子保健事業団）
「子どもの事故予防と応急手当マニュアル」山中龍宏 指導（母子保健事業団）
「イラスト版子どもの事故予防一子どもを守る46の生活の知恵」山中龍宏 監修（合同出版）
「乳幼児の事故予防 保育者のためのリスク・マネジメント」掛札逸美 著（ぎょうせい）
「4歳児までの事故回避ガイド『あぶないよ！気をつけようね』」牧田栄子 監修（世田谷区・NPO 法人せたがや子育てネット）
「発達がわかれば 子どもが見えるー0歳から就学までの目からウロコの保育実践」田中真介 監修（ぎょうせい）
「子育て支援 ひだまり通信 遊びとしつけの上手なコツ」高山静子 著（チャイルド本社）



子どもの育ちと安全がわかる！子育て安心カード

発行：初版第1刷2011年8月1日 第2版第1刷2012年8月1日 第3版第1刷2014年5月1日
編集・発行／社会福祉法人 日本保育協会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-53-1
電話 03(3486)4420 (研修部研修課直通) FAX 03(3486)4415 <http://www.nippo.or.jp>

制作スタッフ デザイン／草薙伸行 イラスト／山口まく 印刷制作／兼俊亮 印刷／明文社印刷株式会社
編集制作／木村明子

この「子育て安心カード」および「子育て安心カード」園内研修資料一式は、非営利目的に限り利用できます。ただし、無料配布、あるいは、オリジナル誌面をそのまま「コピー」する場合に限られ、内容改変、加工、部分使用、変型、要約、翻訳、脚色、翻案などは一切認められません。イラストの部分コピー使用も一切禁止します。なお、取り組みに活用する場合の「研修レジュメ」などには、必ず、「子どもの育ちと安全がわかる！〈子育て安心カード〉：所収」と転記願います。